

9月26日 メジャーとサイクリングと日泰琉交流

今日は午前中はサイクリングをした。井上が田んぼを見たいというのも相まって、散歩がてらに。田んぼの稲が風に吹かれてそよそよしているのを見て、のんびりほのぼの気分になった。田んぼの上を飛ぶ白い鳥にも心を動かされながらいい景色だなあと思った。田んぼを撮影し終え、遠くに見える倉庫みたいなどころに行こうということになった。そこで、田んぼの横に、倉庫の方のびる細い道を発見。行ってみるとため池に突き当たり、田んぼ横断を断念。ため池の深さはどれくらいなのだろうか話題に上り、みんなで図ってみることにした。まず浅山が短い木の棒を池に投げるといふ不可解な行動をとった。これで彼女は木が水に浮くということを知ったはずだ。そこで今度は長い木の棒を池のふちから池の底に向けて入れてみた。でも僕の手の届くところは池の淵ぐらいなのでどうしても浅くなってしまふ。そこで、木と木を結んで「く」の字にして池の深さを図ってみることにした。ちょうど良く周りに蔓状の草が有ったのでそれを千切って木を結んでみると、不安定ながらもうまくいった。それを池に入れてみる。浮く……。浅山の過ちを活かせず落胆orz...がしかし、重りをつければよいということに気が付いた！ということで近くの石(掌にもてるくらいのサイズ)を適当に拾って木に縛り付ける。試行錯誤を2、3回繰り返して完成した。なんちゃって測量器を池に入れてみる・・・ちゃんと沈む~¥(≧▽≦)/ 結果、池は浅山の身長くらいの深さくらいはあるということがわかった。たぶん、さらに中心に近づくともうちょっと深いのかも。でもこの一連のなんちゃって測量で達成感を味わった三人は、それ以上のことはしなかった。

ふたたび遠くに見える倉庫を目指して「ジャカヤーン」(=タイ語で「自転車」)を漕いでいると植林場みたいなどころが左手に見えてきた。きれいに整列されていてきれいだった。たぶんマンゴスチンの木だ。ここの横にもちょっとした道が有ったので行ってみると、民家が有った。つまり飼犬が居る可能性がある。案の定、忠犬ことひたすらに吠えて追いかけてくる犬が登場。三人ともダッシュで逃げた。内心、犬の登場は予期していて、かつ僕は逃げ切れる自信が有ったので、犬が来るスリルを楽しみながら必死で漕いでいた。だが、車道が近いので(というか車道しか見当たらないw)、犬から逃げるのに必死になっていると事故を起こしかねないとも思い、反省。やはり犬には出くわさないのが賢明だろう。

そのあとは「忠犬」対策のために石を持ちながら・木の棒を持ちながら自転車に乗った。すこしいタイ青年にも思える……。倉庫を見つけることはできたのだが、道が見つからず、倉庫には行かずにそのままコミュニティセンターに戻った。途中、「サン・ペン・タ」こと「良い霊たちのためのお家」が有った。見た目には「サン・プラ・プーム」と変わらない。また、「サン・プラ・プーム」同様、赤や緑色のジュースが並べられている。おそらくジュースも「装飾」として考えているのかもしれない。

センターに戻りご飯を食べてまったりしていると、ガローさんに「ソムタム」というセンターから自転車で1分くらいのレストランに連れて行かれた。僕らはおなかいっぱいだったのだが、まだご飯を食べていないと思ったのかもしれない。そこではザクロと、照り焼きの手羽、もち米

を食べた。食べ終わり勘定を払おうとすると、「フリー」と言われ、ありがたやありがたやであった。

そういえば、バンジャムルンに来るゴム収集車は音楽が良い！好きな音楽を大音量で垂れ流しだ（笑）バンジャムルンという音のこもらない建物空間だからかもしれないけど、いいなあと思った。どうせ音楽を流して走るのなら好きな音楽を流してもいいよなあ。

センターに戻り、プンさんとプンさんの奥さんと町のマーケットへ買い物に。今日は日本食を作るのだ！以前にバンコクで買っていた材料を省いて、足りない物を買った。マーケットはスーパーマーケットのことではなく、屋台のようにお店が広がる市場のことだ。野菜、魚、カニ、エビ、豚肉、味の素、小麦粉などなど、意外に多くの種類が売られていた。たしかに食材だけならここで十分かもしれない。買い物を終えプンさんを待っていると、二階建ての家に見慣れたミニハウスが！！家のベランダから張り出す形でサン・プラ・プームらしき「お家」があった。スペースが無ければスペースを作って建てるほどにサン・プラ・プームは重要なのだろうか。信心深いのかなあ？

家に帰ってからは味噌汁とてんぷらとソーミンチャンプルーとお好み焼きを作った。3時間ほどかかっただろうか？ソーミンチャンプルーを作るときに、すぐにザルにとるべきところを、そうめんのパッケージの裏の「そうめんの作り方」を読んだアトイチャンが水に浸すとのだと勘違いして、ザルに取らずに水に浸してしまい、すこしべちゃべちゃしてしまった。味にはそれほど影響しなかったのだが、やっぱりタイ語がもっと喋れたらなあと思った。タイ語があまり通じなくてもいづらかのことはジェスチャーやつたない単語で伝わるのだが、事前に説明するとうかができない。反省。

日本食では味噌汁がウケていた。ソーミンチャンプルーもお好み焼きもてんぷらもそこそこ評判は良かった。ローン・チャイとチャーチャイさんからソーミンチャンプルーが「アローイ」（＝おいしい）と言われたときはうれしかった。その後、ローン・チャイたちの飲み会に混じってタイ語でこれは何というか？という試験（？）とか日本語では何というか？とかを聞かれた。明日はゴムの木を朝の6時から切りに行くとホームステイ先のお母さんが言っていたので、今日は早めに帰った。



・・・のだが、暑くて寝つきが悪く、本を読んでいると結局2時~3時ごろにしか寝られなかった。(・・・そしてゴムの木にぼくは行けず爆睡していた。)